

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 一般財団法人 津山慈風会	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒708-0841 岡山県津山市川崎1756
----	-----------------------------	----	--

本票作成部署名	一般財団法人 津山慈風会 財団本部 企画管理部
---------	-------------------------

主たる業種	分類コード	83	業種名	医療業
-------	-------	----	-----	-----

事業の概要	一般財団法人津山慈風会は、津山中央病院を中心として津山中央記念病院、津山中央クリニック、津山中央健康管理センター、津山中央看護専門学校、アーバンライフ二階町、フィットネス&スパ カルヴァータの医療機関及び関連施設を運営しています。
-------	---

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	津山中央病院	岡山県津山市川崎1756
	②	津山中央記念病院	岡山県津山市二階町71
	③	津山中央健康管理センター	岡山県津山市川崎1756-7
	④	フィットネス&スパ カルヴァータ	岡山県津山市川崎1756-8
	⑤	アーバンライフ二階町	岡山県津山市二階町23-3
	⑥	津山中央クリニック	岡山県津山市二階町65

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 7 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 28 )年度排出量	目標年度(平成 31 年度)
	9,513 t CO <sub>2</sub>	11,605 t CO <sub>2</sub>	9,141 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 28 )年度排出量
	①	津山中央病院	8,628 t CO <sub>2</sub>
	②	津山中央記念病院	1,149 t CO <sub>2</sub>
	③	津山中央健康管理センター	589 t CO <sub>2</sub>
	④	フィットネス&スパ カルヴァータ	474 t CO <sub>2</sub>
	⑤	アーバンライフ二階町	346 t CO <sub>2</sub>
	⑥	津山中央クリニック	347 t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度 ( 5 箇年度)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	( 28 )年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	△ 22.0 %	3.9 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 28 )年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 28 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

・2015年に完成したがん陽子線治療センターが、2016年4月から本格稼働になり、電力使用量が増加したため、削減目標には達しませんでした。

**【推進体制】**

一般財団法人津山慈風会では、ISO14000を取得しており、温室効果ガス削減の部分では、特に電気エネルギーの削減（目標：年間使用量を前年比1%削減）についてEMS事務局を中心に、全部門全部署が取り組んでいる。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
	(今後実施予定分) R22（フロン名）使用エアコンの随時更新（新フロンへの切り替え）

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

- ・平成28年4月より、がん陽子線治療センターが本格稼働となり温室効果ガスが増加した。
- ・また旧医局棟の解体工事も始まり、平成30年度完成予定に向けて新病棟建設工事も始まり、更に温室効果ガスの増加が見込まれる。